

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



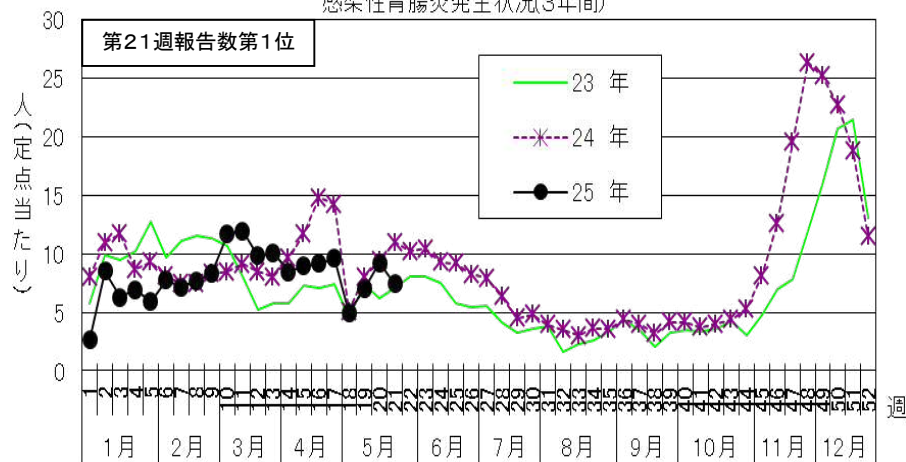
KAWASAKI CITY



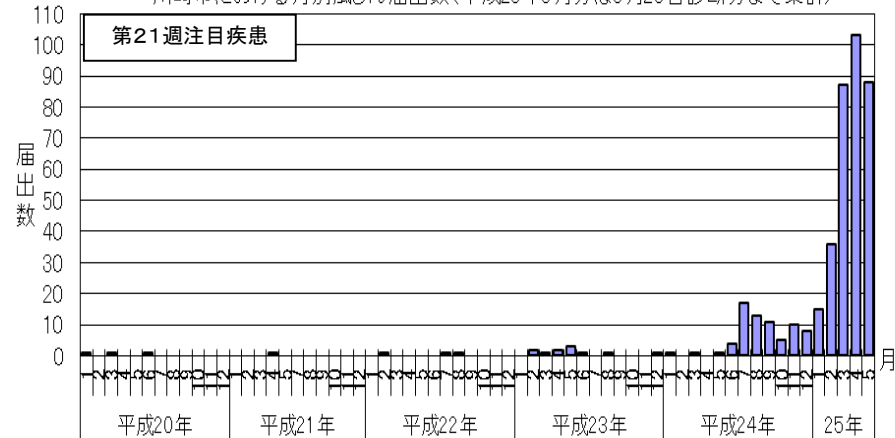
平成25年5月20日（月）～5月26日（日）〔平成25年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり7.45人と前週（9.24）より患者報告数は減少し、例年よりも低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.97人と前週（3.48）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
 風しんの届出が24件あり、前週より報告数は多くなっています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年5月分は5月26日診断分まで集計)



今年の風しん患者は例年の118倍！！

川崎市における今年の風しんの届出数は、第21週（平成25年5月26日診断分）までに329件あり、平成20～24年の同時期の平均（2.8件）に比べ約118倍に増えています。

20～40歳代の働く年齢層の方が多くなっていますので、自分自身だけでなく、家族や一緒に働く方を風しんから守るためにも、次の対策をご検討ください。

女性は…

→妊娠前に風しんの予防接種をご検討ください。

- ・接種後2か月は避妊が必要です。
- ・2回接種で、より確実に先天性風しん症候群を予防できます。

妊娠中の女性は…

→ご家族の方に風しんの予防接種を検討してもらってください。

- ・妊婦は風しんの予防接種を受けることができません。
- ・妊娠中で予防接種を受けられない場合には、人混みを避けるなど、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けてください。

成人男性は…

→以下をチェック！

- ☐ 風しんにかかったことがない
- ☐ 風しんワクチンを受けていない
- ☐ どちらも不明

該当する方は、風しんの予防接種をご検討ください。

- ・2回接種しても問題ありません。